

食品安全と [トレーサビリティ認証]

Mitsubishi UFJ Research and Consulting

2009年 **4月30日(木)** 三菱UFJリサーチ&コンサルティング 第1セミナー室
15:00~17:30 (受付14:30~)

食品安全マネジメントシステムの構築手法とその事例

■講師 **岡本 泰彦** 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) マネジメントシステム部 チーフコンサルタント

食中毒や異物混入、食品の偽装表示事件等、食をめぐる不祥事は後をたちません。食の安全に対する不信任はつるばかりで、安全神話は、もはや地に落ちた感すらあります。また近年、食の世界はますます『ユビキタス』となり、産地や季節を超えて、いつでもどこでも旬の食材を味わうことができるようになりました。流通経路が複雑かつ多段階となることにより、リスクは倍増します。企業側はリスクがないこと、許容限度まで軽減されていることを消費者に知らしめることが求められますが、もはや企業単体では『透明性(見える化)』と『トレーサビリティ』を保障することは、不可能に近いといえます。

流通段階における川上(生産)から川下(小売)まで、お互いに厳しくかつ公正な視点で確認し合い、フードチェーンの発想を通じて、安全であることを消費者に証明することが重要です。

食品安全マネジメントシステム(ISO22000)は、HACCPの弱点を補い、かつフードチェーン・マネジメントのエッセンスをトッピングした『安全・安心の救世主』といっても過言ではない仕組みです。

今回は、食品安全マネジメントシステムの構築手法を事例をもとに、わかりやすく説明いたします。

第1部

トレーサビリティ認証/ISO22005のご紹介

■講師 **西村 直哉** DNV ビジネスアシュアランス フードセクター監査員

日本においても、いよいよISO22005に基づく食品の『トレーサビリティ認証』がスタートしました。安全な食品は、フードチェーン全体のプロセスを適切に管理することで初めて得られると考えられます。フードチェーンにおける管理を厳格にし、強化することは時代の要請であり、企業にとって急務です。製品、原材料(多くの場合はその原産地、由来も)識別できることは、消費者にとって有益であることは間違いありません。

また、企業にとっても万一の事故発生時には、迅速かつ正確なリコールシステムが必要となりますが、この認証制度を導入することで、フードチェーン全体のトラッキングやトレーシングに効果を発揮します。食品トレーサビリティの認証マークは、製品の包装や製品そのものに表示することが可能です。農場から食卓まで、食品に関わるあらゆる企業の活動を対象とする認証です。

今回は『トレーサビリティ認証』の仕組みと概要を解説いたします。

第2部

食品安全を実現する個体差認証システムのご紹介

■講師 **春日 文実** 三菱UFJリサーチ&コンサルティング(株) 総合コンサルティング部 チーフコンサルタント

『食のリスク』が顕在化する中、『いつ、誰が作ったのか』、そして『その情報に嘘はないのか』といった、正しい情報を入手できるかどうかは、消費者にとって大きな関心事です。『美味しい』、『安い』だけでは、もはや消費者の購買意欲を動かすことは出来ない時代が到来いたしました。

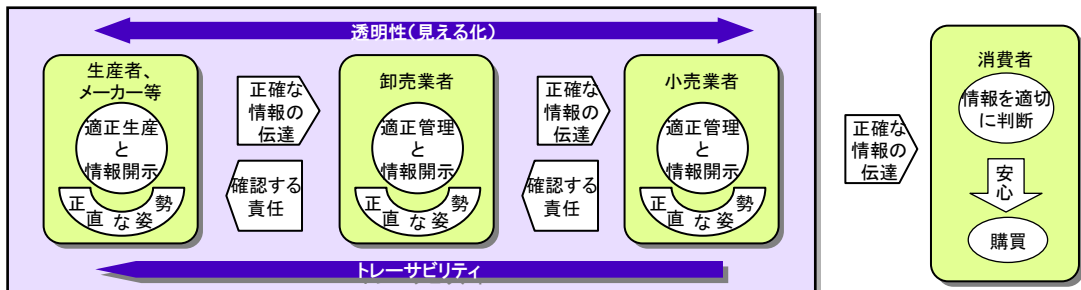
消費者のニーズを満たし、信頼感を取り戻すためには、科学的根拠に基づいた信頼性の高い『トレーサビリティ・システム』を構築することが求められています。

第3部

『個体差認証』とは、商品の個体差を利用した新しいシステムです。偽装や表示改ざんが相次ぐ昨今顔が見える社会、安心できる暮らしの元、新しい信頼関係の構築や確実なトレーサビリティの保障が可能となります。

RFID(ICチップICタグ)とは違い、個体差をナノレベルで識別する仕組みのため、データ改ざんの可能性がありません。トレーサビリティ情報のオープン化を図ることで、企業イメージの向上にもつながります。

今回は、nanoda社が開発した『個体差認証システムhanko』のエッセンスを紹介いたします。



2009年4月30日

【食品安全とトレーサビリティ認証】

セミナーお申込について

会場ご案内

- 三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社
9階 第1セミナー室

住 所: 東京都港区港南2-16-4
品川グランドセントラルタワー

- 最寄り駅: JR品川駅
「中央改札口」を出て「港南口」からスカイウェイを通り徒歩10分

※ 品川グランドセントラルタワーの2階より、低層階用エレベーターにて9階までお越しください。



お申込み要領


- 【募集定員】 先着80名。1社からのご参加は2名様までとさせていただきますが、多くのお申込を頂きました場合、やむなくご参加人数を相談させて頂く事もございますので、あらかじめご了承ください。
- 【最小催行人数】 10名（応募者が最小催行人数よりも少ない場合は、開催を中止させて頂く事もあります。その場合は、その旨ご連絡致します。）
- 【受講料】 無料
- 【申込方法】 下記URLからお入り頂き必要事項をご入力の上、送信ボタンを押してお申し込み下さい。折返しE-mailにて受講証をお送り致します。当日、受講証のメールをプリントアウトしてセミナー受付にご提出ください。
- 【申込締切】 4月27日(月)
- 【お願い】 上記締切りを過ぎましても受講証の受信が確認出来なかった場合は、大変申し訳ありませんが、お電話にてお問合せください。なお、お申込後、ご参加者が変更となった場合や欠席される場合はご一報ください。
※同業者の方はお申込をお断りさせて頂く場合があります。
※録音は固くお断りいたします。

専用お申込みURL

弊社HP「セミナー・イベント」欄に掲載されている当チラシの下記URLをクリックしていただくと簡単にお申し込み画面を開く事が出来ます。

<http://www.murc.jp/cseminar/0430.html>

(なお、ご使用のPCによっては、セキュリティ警告が出る場合があります。その場合には「許可」を押してください。)

【お問合せ】  三菱UFJリサーチ&コンサルティング マネジメントシステム部
受付担当: 荻島(おぎしま)・宮本(みやもと) TEL:03-6711-1227

【個人情報の取り扱いについて】

- 申込書に記載された住所、氏名、電話番号等の個人情報は、当社の「個人情報保護方針」及び、「個人情報の取り扱いについて」(<http://www.murc.jp/profile/privacy.html>)に従って適切に取り扱います。
- セミナー等参加者の個人情報は業務委託により当社以外の第三者に個人情報を預託する場合がございます。そうした場合には、十分な個人情報保護の水準を備える者を選定し、契約によって個人情報の保護水準を守るよう定め、個人情報保護を適切に取り扱います。
- ご記入頂きました個人情報は、本セミナーのご連絡及び今後のセミナーのご案内、セミナー企画の参考、コンサルティングのご紹介に利用させていただきます。
- 本個人情報は、弊社において前記目的に限って利用し、厳重に管理致します。
- また、ご記入頂きました個人情報は、セミナー講師に参加者名簿として提供する場合がございます。
- 三菱東京UFJ銀行あるいは三菱UFJ信託銀行からのご紹介の場合、ご記入いただきました個人情報のすべてを、それぞれ該当の銀行に提供させていただきます。又、D.V.N. ビジネスアシュアランスからのご紹介の場合も同様に、情報を提供させていただきます。
- 個人情報のご記入は任意です。ただし、ご記入内容に不備がある場合は、改めて内容の確認をさせて頂く場合がございます。また、必須項目にご記入頂けない場合は、セミナーを受講して頂けない場合がございます。
- お預かりしている個人情報の開示、削除等のお申し出、その他のお問い合わせにつきましては下記までご連絡ください。

【本件に関する照会先】三菱UFJリサーチ&コンサルティング マネジメントシステム部 TEL:03-6711-1227/FAX:03-6711-1296